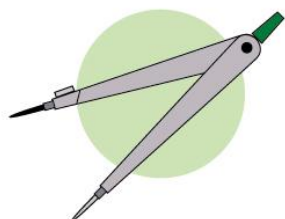
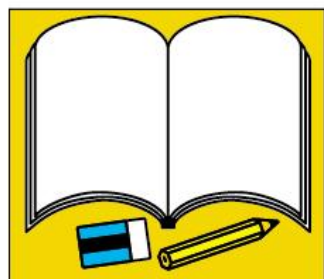


家庭学習のすすめ



平成24年7月

久喜市立久喜北小学校

家庭学習のすすめ

～ 学校と家庭学習で確かな学力を身に付けよう！ ～

平成24年7月 久喜北小学校

1 家庭学習はなぜ重要なのでしょうか？

学校では、国語、算数をはじめとして、将来、社会人として自立していくための基礎となる力をさまざまな教科を学習することを通して育成しています。教科で得られる知識や技能、表現力・思考力等の他に、自立していくための基礎となる重要な力として、**学習意欲と学習習慣**があります。また、平成23年度から新学習指導要領の実施となり、学習する内容が多くなりました。このため、学校だけで学力を育成するには以前にも増して難しくなっています。

国際学力到達度調査において、日本の子ども達は「宿題や自分の勉強をする時間」は最も少なく、読書をしない割合は参加国中最も高いという結果でした。

このようなことから、本校では、あらためてご家庭と協力して家庭学習の習慣化を図ってきたいと思います。

2 家庭学習はいつすればよいのでしょうか？

帰宅後の生活スケジュールは、各家庭によって違います。それぞれのご家庭で、「自分のうちでは、どの時間帯にするのが一番適切か」をよく話し合って決め、決めたらご家族全員で守るための努力をしましょう。

3 家庭学習はどこですればよいのでしょうか？

無理に学習机や自分の部屋で行う必要はありません。家族の人の目の届くところで家庭学習をするのは、子ども達にとってよいことが多いのです。困ることがあったら相談することができますし、家族の方にとっては、どのような学習をしているのかを知るよい機会となります。大切なのは、場所ではなく、「場の環境」だと思います。家庭学習をしている間、「集中できる環境」であることを大切にしてください。

4 家庭学習はどれくらいの時間すればよいのですか？

個人によって違いはありますが、小学生の「集中力」が続き、家庭学習として効果があるのは、その学年の数字×10分から15分程度といわれています。

北小では「学年×10分+10分」を目安としています。

1年生：10分～20分

2年生：20分～30分

3年生：30分～40分

4年生：40分～50分

5年生：50分～60分

6年生：60分～70分



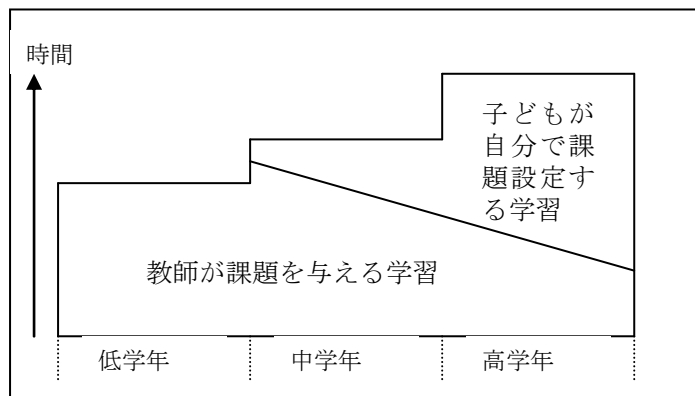
5 家庭学習の内容について

① 子どもの発達の特徴

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・ 論理的なことより、どちらかというとい意味のない文字や絵や音に対して驚異的な記憶力を示す。 ・ 先に暗唱することによって、あとで理解していく傾向が強い。経験記憶（自分の過去の経験が絡んだ記憶）よりも、知識記憶（知識として与えられた記憶）を受け入れる脳がよく発達しているといわれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語的思考が安定してくる。 ・ 子どもの思考が概念的、一般的になってくる。 ・ 自分の世界観、歴史観を持つようになる。ゴールデンエイジ（あらゆる物事を短時間で覚える「即座の習得」ができる時期）暗記力にも優れ、ちょっとした技術を身につけるのも早い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに意欲を持つようになる。 ・ 科学的な概念を持つようになる。 ・ 法則が理解できるようになる。 ・ 抽象的思考ができるようになる。 ・ 物事を理屈で捉えるようになり、機械的な学習に抵抗を感じるようになる。

② 家庭学習の内容と時間の目安

低学年においては、教師が家庭で行う学習の課題を与え、中学年・高学年と進むにしたがって、自己の能力や興味・関心に応じて自分で学習する課題を設定できるようにする。



③ 取り組ませるポイント

<低学年：家庭学習の習慣づくりのポイント>

論理的な理解の前に暗唱等が有効
 名文を暗唱し、言葉に対する感覚を自然に磨く

- ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、10分～30分）
 スケジュール（家庭学習がんばりカード）を自分で作る
- ステップ2 宿題やプリントを行う
 音読 漢字練習、計算練習、日記等
 時計の見方、長さ、重さ等を感覚で捉える、
- ステップ3 保護者が見届け、ほめる。

＜中学年：家庭学習の習慣づくりのポイント＞

ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、30分～50分）
スケジュール（家庭学習がんばりカード）を自分で作る

ステップ2 宿題等の「読み・書き・計算」の基本練習・繰り返しの練習を行う。

ステップ3 基本の学習を終えたら、はじめは「好きなこと」等の学習を行い、自主学習の内容を少しずつ広げていく。

＜高学年：家庭学習の習慣づくりのポイント＞ 意欲と思考力を育てる学習習慣づくり

ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、50分～70分）
スケジュール（家庭学習がんばりカード）を自分で作る

ステップ2 宿題等の「読み・書き・計算」の基本練習・繰り返しの練習を行う。
繰り返して取り組ませることも、あてがいぶちの単なる宿題ではなく、学ぶ課題を与えたり、選択制にする。

ステップ3 子ども自身で課題を設定し（予習・復習）、自主学習を行う。

④ 家庭学習の具体的内容

＜音読＞

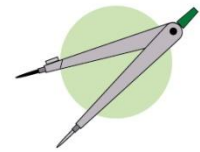
- ・音読は全学年で実施します。声に出して読む事は、脳を活性化するとともに、言葉の習得に欠かせません。言語は声や文字に表出して相手に伝えることができますので、音読は大変重要です。

＜漢字＞ 低学年から高学年へ

- ・プリントやノートを使い、継続して練習する。
- ・読みながら書く、書きながら読むことも有効である。
- ・正しく読み仮名をつけて、書き順に気をつけて書く。
- ・ドリルにある漢字を見ながら読み仮名を書く。
- ・読み仮名にそって何も見ないで漢字を書く。
- ・ドリルを見て答えあわせをする。間違えた漢字を練習する。
- ・文章の中で使えるようにする。

＜計算＞

- ・プリントやノートを使い、継続して練習する。
- ・ドリルの問題をノートに書き写し、計算問題を解く。
- ・提出して計算方法や答えを添削してもらう。
- ・ドリルを見て答えあわせをする。間違えた問題を再度解いてみる。



＜日記＞

- ・習った漢字を使って、最後の行まで書く。
- ・ていねいな文字で書く。
- ・書く題材は自由だが、週に1度程度、担任が与えたテーマに沿って書く等の工夫も考えられる。

行事を終えて 社会の出来事について・・・

<自主学習の内容例>

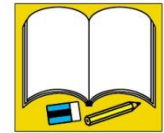
国語

- ・習ったところを2～3回音読する。
- ・ノート（プリント）を音読する。
- ・赤線を引いたり、大切だといわれた言葉・文章を写す。
- ・新出漢字、読みかえの漢字はどれも書けるようにする。
- ・分からない言葉を調べる。
- ・今日の授業で分かったこと、思ったこと、分からなかったこと、次にしてみたいことを書く。
- ・次の時間に学習するところを視写する。（1行おきに）
- ・テストで間違ったところを直す。同じような問題を解いてみる。
- ・新聞を読む（習った漢字を○で囲む、自分の興味のある記事をスクラップし意見を書く等）



社会

- ・習ったところを2～3回音読する。
- ・ノート（プリント）を音読する。
- ・赤線を引いたり、大切だといわれた言葉・文章を写したりする。
- ・分からない言葉を調べる。
- ・図やグラフ、表から分かることを書く。写真もよく見る。
- ・本や資料集などを見て、大切なところを自分で工夫してまとめる。
- ・今日の授業で分かったこと、思ったこと、分からなかったこと、次にしたいことを書く。



算数

- ・計算の方法 の中の文、赤線を引いた文などをノートに写して覚える。
- ・教科書やドリル、プリント、テストでまちがった問題に取り組む。
- ・教科書にある「まとめ」の問題をもう一度行う。
- ・ドリルや問題集で同じような問題を探して行う。
- ・今日の授業で分かったこと、思ったこと、分からなかったこと、次にしたいことを書く。
- ・テストで間違ったところを直す。同じような問題を解いてみる。

理科

- ・大切だといわれた言葉・文章に赤線を引いたり、ノートに写したりする。
- ・実験や観察のやり方、結果、分かったことを教科書、ノートをもとに写したりまとめた
- りする。
- ・教科書や写真や絵をよく見て、分かることや気付いたことをまとめる。
- ・本や資料集などを見て、大切なところを自分で工夫してまとめる。
- ・今日の授業で分かったこと、思ったこと、分からなかったこと、次にしたいことを書く。

最後に

早寝・早起き・朝ご飯をしっかりと！

朝ご飯は脳の働きを活発にします。

基本はなんといっても規則正しい生活です。